

プレスリリース
報道関係者各位

2014年3月10日
日本CSO協会 会長 清水 昇

国内CSO事業に関する実態調査-2013版-速報データ

CSOの戦略的活用が進展し、コントラクトMR数は3,551人（前年比5.5%増）となり、
製薬業界に占める割合は5.6%へ

日本CSO協会では昨年に引き続き、国内CSOにおける医薬品のマーケティング・販売に係る事業実態を調査し、CSO市場規模（コントラクトMR数およびCSO活用企業数）に関する速報データをまとめました。

2013年10月時点のコントラクトMR数は3,551人で、昨年の3,365人に比べ5.5%増加し、国内全MR数に占める割合は5.6%に達しております。

本速報データの詳細は、日本CSO協会公式ウェブサイト (<http://www.jcsoa.gr.jp/>) の『Monthly CSO News 3月号』にて掲載いたします。

また、全調査結果は、日本CSO協会の第3期の活動と併せて、本年4月の年次総会においてご報告いたします。

国内CSO事業に関する実態調査 -2013年版-の概要

【調査対象】 日本CSO協会に所属するCSO9社

【調査事項】 CSO事業の動向、CSO企業およびコントラクトMRの状況

主な調査内容

- ・CSO市場規模の推移（コントラクトMR数、CSO活用企業数）
- ・導入目的別、疾患領域別にみたコントラクトMRの活用動向
- ・経験者、異業種出身者別にみたコントラクトMR数の推移 等

【調査時期】

調査基準日：2009年～2013年における10月1日

調査期間：2013年11月～2014年1月

本件に関する問い合わせ先

日本CSO協会 事務局

担 当：橋本・半澤（電話 03-6859-9727）

メール：info@jcsoa.gr.jp（公式ウェブサイト <http://www.jcsoa.gr.jp/> 内）

CSO市場規模の推移 (コントラクトMR数、CSO活用企業数)

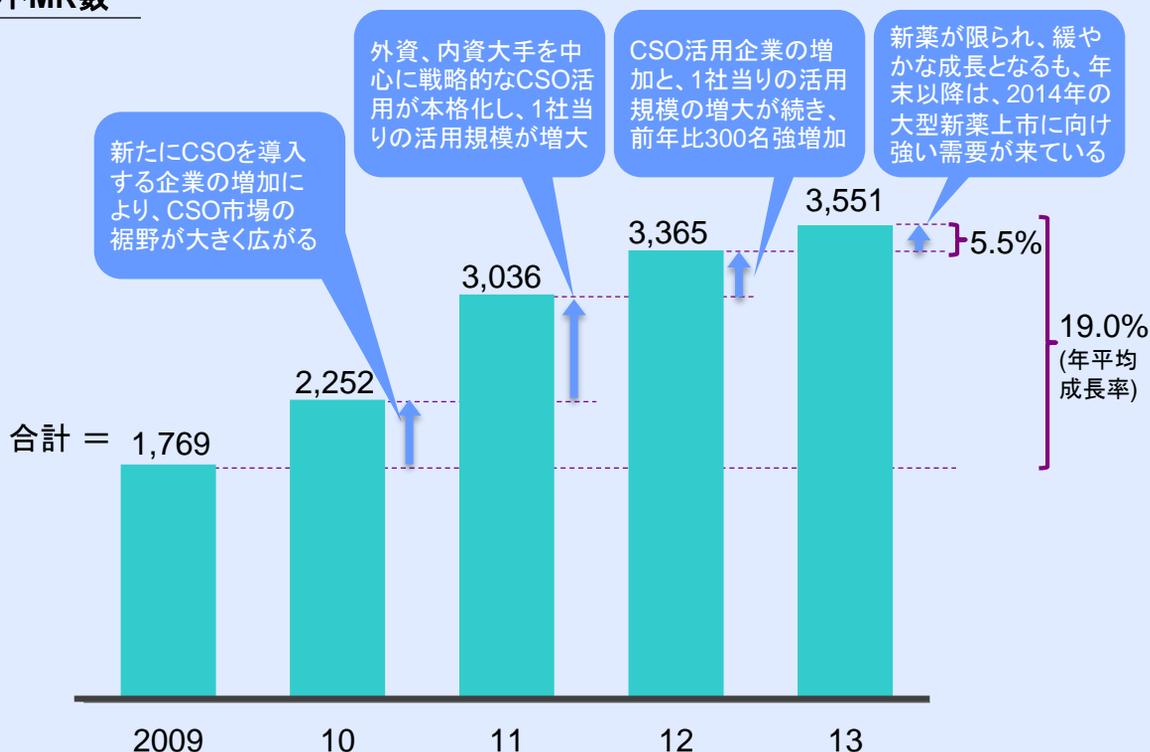
-速報値-

国内コントラクトMR数は3,500人を超え、2014年の大型新薬の上市に向け、拡大基調が鮮明に

- 2013年10月時点におけるコントラクトMR数は3,551人で、前年比5.5%となった。
- 2013年はCSOの需要が大きく膨らむ新薬に限られ、従来に比べて緩やかな伸びであったが、本調査を開始した2009年からの4年間では2倍を超える市場成長を果たした。
- CSOを活用する企業数は4社増の74社で、2009年以來の市場の裾野の拡がりが続いていることが示された。
- MR全体に占めるコントラクトMRの比率は5.6%と、前年に比べ0.3ポイントの上昇となった。
- 今後のCSO市場は、大型新薬の上市や、営業・マーケティングにおけるBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)の積極化などにより拡大基調が続く見通しで、本調査直後からCSOへの需要が大幅に増加している(本年1月の追加調査では、さらに500人を超えるMRが稼働しはじめている)。

コントラクトMR数*

(人)



全MRに占める比率 (%)**

3.0 3.8 5.0 5.3 5.6

CSO活用企業数 (社)

52 68 67 70 74

* MR業務に従事する者のほか、医療機器担当者やMSL(メディカル・サイエンス・リエゾン)、エデュケーショナル・ナース等を含む

2009年~2011年については、受注ベースの人数から実稼働数を算出

** 全MR数は、MR認定センターによる「MR白書」の2008~2012年度データ(各翌年3月31日付け調査)に基づく